【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【公開番号】特開2019-92806(P2019-92806A)
【公開日】令和1年6月20日(2019.6.20)
【年通号数】公開・登録公報2019-023
【出願番号】特願2017-224250(P2017-224250)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和1年5月23日(2019.5.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
可変表示を行うことが可能な遊技機であって、
可変表示に対応する特定表示を表示可能な特定表示手段と、
前記特定表示の表示態様を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、を備え、
前記特定表示は、特定領域にわたって可変表示に対応する特別対応表示を含み、
前記特定領域を含む領域において特定演出を実行可能な特定演出実行手段を備え、
前記特定表示手段は、前記特定演出が実行される場合に、前記特別対応表示の少なくとも一部を視認困難とすることが可能である、
ことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記特定表示の表示態様には、少なくとも、前記第１態様と、有利度が高い第２態様とが含まれ、
前記変化演出実行手段は、
前記第１態様により特定表示を表示した後に、該特定表示の表示態様を前記第２態様に変化させることが可能であり、
実行された変化演出の実行態様に応じて、異なる割合により、該変化演出の後にさらに変化演出を実行可能である、
請求項１記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
（手段Ａ）本発明による遊技機は、可変表示を行うことが可能な遊技機であって、可変表示に対応する特定表示を表示可能な特定表示手段と、特定表示の表示態様を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、を備え、特定表示は特定領域（例えば、変形例２において、図４６（５）に示す演出表示装置９の表示画面のうち可動部材７８の上方に

位置する領域）にわたって可変表示に対応する特別対応表示（例えば、アクティブ画像９Ｅ）を含み、特定領域を含む領域において特定演出（例えば、擬似連）を実行可能な特定演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ８０１０，Ｓ８０１１で擬似連を含むプロセステーブルを選択してステップＳ８０１３，Ｓ８１０５を実行する部分）を備え、特定表示手段は、特定演出が実行される場合に、特別対応表示の少なくとも一部を視認困難とすることが可能である（例えば、変形例２において、図４７（２）に示すように、可動部材７８が上方に若干動作し、アクティブ画像９Ｅが可動部材７８によって視認困難な状態となる）ことを特徴とする。

また、特定表示の表示態様には、少なくとも、第１態様（例えば、特殊保留。通常保留でもよい。）と、有利度が高い第２態様（例えば、青色保留、赤色保留）とが含まれ、変化演出実行手段は、第１態様により特定表示を表示した後に、該特定表示の表示態様を第２態様に変化させることが可能であり、実行された変化演出の実行態様に応じて、異なる割合により、該変化演出の後にさらに変化演出を実行可能である（例えば、保留予告演出において作用演出が実行されても特殊保留のまま変化しなかった場合には、その後再び作用演出が実行されて特殊保留から青色保留や赤色保留に変化可能であるが、保留予告演出において作用演出が実行されて特殊保留から青色保留や赤色保留に変化した場合には、その後作用演出は実行されない）ものとしてもよい。

（手段１）また、本発明による他の遊技機として、可変表示を行うことが可能な遊技機であって、特定表示として特定領域（例えば、変形例２において、図４６（５）に示す演出表示装置９の表示画面のうち可動部材７８の上方に位置する領域）にわたって可変表示に対応する特別対応表示（例えば、アクティブ画像９Ｅ）を表示可能な特定表示手段（例えば、変形例２において、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ８５０３を実行する部分）と、特定領域を含む領域において特定演出（例えば、擬似連）を実行可能な特定演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ８０１０，Ｓ８０１１で擬似連を含むプロセステーブルを選択してステップＳ８０１３，Ｓ８１０５を実行する部分）とを備え、特定表示手段は、特定演出が実行される場合に、特別対応表示の少なくとも一部を視認困難とすることが可能である（例えば、変形例２において、図４７（２）に示すように、可動部材７８が上方に若干動作し、アクティブ画像９Ｅが可動部材７８によって視認困難な状態となる）ことを特徴としてもよい。そのような構成によれば、特別対応表示の表示と特定演出とを重複して実行する際に適切な表示制御を実現でき、遊技に対する興趣の低下を抑えることができる。